

# 脱炭素まちづくりアドバイザー紹介

氏名	白簀佳三	所属	岡山県西粟倉村役場	
専門領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再エネ導入～運営管理</li> <li>小水力・太陽光・木質バイオマス熱利用・小型ガス化発電・井水熱利用</li> <li>・家庭部門の脱炭素推進施策</li> </ul>	居住地／活動地域	岡山県／全国	
		派遣形式	スポット型、伴走型	
略歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1962年 岡山県落合町（真庭市）に生まれ。駒澤大学卒業。</li> <li>・1997年 建設コンサルタント（環境調査）を経て西粟倉村役場入庁。</li> <li>・2012年 産業観光課主任、水力発電所リプレイス（FIT）などを担当</li> <li>・2013年「環境モデル都市」・2014年「バイオマス産業都市」を担当（現任）</li> <li>・2022年「脱炭素先行地域」施設整備を担当（現任）</li> <li>・2023年 西粟倉村役場再任用</li> </ul>			
過去の地方公共団体との関わり	<p>2012年～2023年 西粟倉村産業観光課で再エネ・省エネを担当        村営水力発電リプレイスとFIT申請、温泉施設薪ボイラー化、木質チップボイラーによる熱供給システム、小型ガス化発電（自家消費）、木質バイオマス利用に必要な原木流通・乾燥～燃料製造に係る仕組みを構築、SPCにより小水力発電新設（FIT）、井水熱（冷房）利用設備、家庭向けの再エネ・省エネ設備導入など。</p> <p>2021年 環境省「地方公共団体実行計画策定・実施マニュアルに関する検討会」に参画</p>			
一言	<p>地域脱炭素化は「夏休みの宿題＝遅かれ早かれやる事となる？」が、早く取り組むほうが地域への効果は大です。これまでの西粟倉の脱炭素化には、先進自治体との情報交換は重要で、特に失敗談は後進自治体にとって金言でした。まだまだ西粟倉は課題散在ですが、みなさまと意見交換をさせていただきながらともにまちづくりに関わりたい。</p>			
参考URL	<p><a href="https://www.vill.nishiawakura.okayama.jp/wp">https://www.vill.nishiawakura.okayama.jp/wp</a>  <a href="https://throughme.jp/idomu_datsutanso_part2/">https://throughme.jp/idomu_datsutanso_part2/</a></p>			